

絆

小牧原小学校区地域協議会 三世代交流会を開催

-KIZUNA-

2月15日、小牧原小学校にて小牧原小学校区地域協議会主催の「三世代交流会」が行われました。

この催しは、さまざまな年代の方との交流を通じて、地域のつながりを深めることを目的に企画されたもので、今年度初めての開催となりました。

子どもから高齢の方まで、約100人の地域住民が参加し、ダブルダッチやミニトランポリン、児童館による合唱、つりぼりなどのブースやなごみカフェによるコーヒーやお茶の飲料コーナー、協議会交流部会によるニュースポーツなどのさまざまな遊び体験が行われました。

参加した子どもたちは「全部楽しかった。また家族で来たらいいな」と話していました。また、イベントを企画した交流部会長の塚原さんは、「初めての開催で地域の方に参加してもらえるか不安だったが、当日たくさんの方から楽しかったという言葉やまた開催してほしいという言葉をもらい、イベントを手伝ってもらった全ての皆さんに感謝し、引き続き、このような地域住民が交流できる企画を行っていききたい」と話しました。



小牧警察署通信

みんなでつくろう！安心安全のまち

110



問合せ 小牧警察署 (☎ 72 - 0110)

みんなの思い 明るい社会



「痴漢、盗撮」について

警察に寄せられた痴漢に関する相談を分析すると、通勤・通学時間帯の電車内の出入口付近、下校・帰宅時間帯の路上での被害が多発しているという傾向がみられます。

盗撮については、駅や商業施設のエスカレーター、階段利用時であったり、買い物中に背後から盗撮される被害が多発しているという傾向がみられます。



知っていますか？若年層を対象とした性的な暴力問題 ～ AV 出演被害問題・JK ビジネス問題～

◎ AV (アダルトビデオ) 出演被害問題

性別を問わず若年層の方々を中心に、不本意にアダルトビデオに出演してしまったことにより、心や体の健康に支障が生じたり、インターネットやSNSで瞬く間に映像が拡散されてしまうなどの被害が発生し、大きな関心を集めています。

特に、進学や就職等に伴って生活環境が大きく変わる時期は、モデルや芸能人等の勧誘を装ったスカウトやインターネット上での募集などにより、こうした被害が増えることが心配されます。

被害の実例として、

- スカウトから「モデルにならないか」と声を掛けられ、紹介された事務所はアダルトビデオの女優を派遣しているプロダクションだった
- 「テレビ番組の撮影に協力してほしい」と声を掛けられ、近くに止めてあった車に乗ったところ、書面にサインさせられ、性的な行為の写真や動画を撮影された

といった若年層の心理に付け込んだ手口による被害が多く報告されています。

◎ 「JK ビジネス」は危険がいっぱい！

児童の性に着目した形態の営業である「JK ビジネス」は、女子高校生等に制服姿や水着姿等で接客させるなど、性被害に遭うおそれのある危険なアルバイトです。安易な気持ちで関わらないようにしましょう！

愛知県では、高校生などを「JK ビジネス」で働かせることなどを青少年保護育成条例により規制しているほか、少年補導の対象としています。